

立命館大学人文科学研究所紀要 第一号

末川博士還曆記念

パスカルの Honor Vacui と実験的方法

——科学と哲学との関連を巡るための試論——

山元 一郎

形式的真理と存在の問題

市民社会における市民の人的自己解放

——マルクスにおける自己疎外と具体的一般者——

梯 明 秀

法と道徳との区別に関する諸問題

イデオロギーとしての社会学

——アメリカ社会学史序章——

天野 和 夫

リカアドオ経済学の二大支柱

奈良 絵 本 考

細 野 武 男

剪燈新話と雨月物語との関係

ヘレンツムにおけるボリス的財産観

居延漢簡と漢代の財産税

井 上 次 郎

清 水 泰

後 藤 丹 治

高 橋 良 三

平 中 荅 次

藤原惠美押勝の乱

——日本古代政治史のための断章——

上層町衆の系譜

——京都における三長者を中心に——

明治維新とナショナリズム

——わが国都市労働における封建性と勞務供給請負業——

——わが国都市労働における封建性に関する試論——その一——

勤労者の意識

——おくれたものと進んだもの——

中国の新民主主義革命と新民主主義経済

——米国による対外援助の国際政治的意義——

——第三期帝国主義に関する一試論——

末川博士略歴 末川博士著作年表

——第三期帝国主義に関する一試論——

北山 茂 夫

林屋辰三郎

奈良本辰也

大山敷太郎

阿部 矢 二

武藤 守 一

前 芝 確 三

末川博士略歴 末川博士著作年表

額 価 三〇〇円

発行所 立命館大学人文科学研究所